

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人 町田真弘会

- ・ 法人本部 総務
- ・ 高齢者グループホーム光の園町田
- ・ 高齢者デイサービスセンター光の園町田
- ・ 高齢者グループホーム光の園おおくら
- ・ 小規模多機能ホーム光の園おおくら

目 次

- ◆令和2年度 法人本部及び各事業所の年間目標に対する達成状況・・・ p.3 - p.5
- ◆社会福祉法人 町田真弘会 中長期運営計画の進捗状況について・・・ p.6 - p.7
- ◆法人本部及び各事業所の年間目標（令和2年度）に対する結果・・・ p.8 - p.13
- ◆令和2年度 各事業所「稼働率」目標に対する達成状況・・・・・・・・ p.14
- ◆年間行事計画 実施報告について・・・・・・・・・・・・・・・・ p.15 - p.16
- ◆人材の雇用について・・・・・・・・・・・・・・・・ p.17- p.18
- ◆職員定例会議実施状況報告、委員会年間活動報告・・・・・・・・ p.18
- ◆職員研修（新人、中堅、リーダー層）の実施状況・・・・・・・・ p.18 - p.19
- ◆地域との交流活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・ p.19
- ◆社会福祉充実計画に関して・・・・・・・・・・・・・・・・ p.20

総括

①法人

<稼働率・売上に関して>

令和2年度はデイサービスの稼働率が過去最高を達成。小規模多機能も通所利用者の定員を15名から12名へと抑えた上で、2020年10月より登録定員を25名から29名に引上げ安定した運営ができております。グループホーム光の園おおくらは99%を超える稼働率を達成。グループホーム光の園町田は重度化に伴うターミナルが続き利用者の方の入れ替えが多く、目標は達成できましたが稼働率は96.6%となっています。全体的に新型コロナウイルスの影響は少なく、売上に関しては前年度比 99.9%となっています。

	令和1年度	令和2年度	増減	前年度比
売上	344,979,888	344,955,211	-24,667	99.9%

<事業継続に関して>

2019年の大きな台風被害、2020年から現在までなお猛威をふるっている新型コロナウイルス等、事業の継続に関するリスクが課題となっています。令和2年度は安心して利用者様、職員、地域における福祉を守るためBCP（事業継続計画）「①新型コロナウイルス編 ②地震・災害編」を策定致しました。今後はBCPの周知、日頃からの訓練、職員への教育を徹底していき、大きなリスクに備えていきたいと考えます。

<新型コロナウイルスについて>

感染症対策として施設内の除菌、消毒、利用者の健康チェック、職員の検温、手指消毒の徹底、第三者の面会の制限、外出行事の自粛を行ってまいりました。職員に対しても不要不急の外出のお願いをし、ストレスを感じながらも利用者を守るために懸命に職務にあたってくれた1年だったと考えます。常日頃から注意を払っていましたが2020年10月には職員1名の陽性が出ました。幸いにも二次的な感染はありませんでした。ワクチンの接種や国内における集団免疫が獲得されるまでは油断ならない状況は続くと考えられますので、引き続き施設内外にて対策を行っていきます。

<人材不足に関して>

2020年11月よりインドネシアから2名の実習生が来日しました。2021年1月よりグループホーム光の園町田に配属になっています。他職員ともコミュニケーションを上手にとりながら、仕事と語学習得に励んでいます。また、2021年3月には新しく受け入れる2名の実習生についても面接を行い、内定を出しています。

各事業所の人材についてはやはり現状で不足しています。求人広告や募集をかけるも新型コロナウイルスの影響か、例年とは異なり全く応募がこない状況です。テレワークが推奨される世の中に対して、SNS等を用いた求人へのアプローチの仕方、求める人材の明確化が課題として見えてきたと考えます。一方で、一昨年より始動した高校生新卒採用については

2020年中に応募、面接を行い2021年4月から1名の新卒採用を行うことができました。今後は既存の求人と新しいターゲットへのアプローチを含めて採用活動を行って参ります。

<新規事業に関して>

令和3年4月～介護保険制度改訂にともない、グループホームにおいてもサテライト施設の設立が認められるようになりました。地域の方との御縁があり、光の園町田から徒歩1分圏内に事業ができそうな土地をみつけることができました。しかし、町田市へグループホーム設立の交渉に伺ったところ2021～2023年までは市内におけるグループホームの新設は行わないとの回答を頂いています。今後は2024年以降の計画状況を都度、確認しながらサテライト事業所を模索していきます。

また、東京都が行うグループホームマッチング事業への登録も行いました。現状、近隣の市（多摩市・八王子市）等で新規事業ができないかも検討を開始しています。

②高齢者グループホーム光の園町田

令和2年度の稼働率は96.9%でした。光の園町田は終末期までのケアを行っており、年々利用者の平均要介護度が上がり重度化しています。そのため、令和2年12月、1月にかけて3名の方がホームにてターミナルを迎えられました。感染症が流行る冬場というところと新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、入居相談等、上手く繋がれず稼働率に影響を及ぼしています。利用者の皆様に対しては年間を通じて新型コロナウイルスの影響が大きくあった1年でした。外出の制限、行事、買い物、地域との交流、家族との面会等を抑えながら運営を行ってきました。施設内でのレクリエーション、近隣への散歩、ドライブ等により利用者の方がいつもと変わらず過ごせるよう職員が考え行動して参りました。

③高齢者デイサービスセンター光の園町田

令和2年度の月間ご利用者様の延べ人数は年間を通して300人を割る事はほぼございませんでした。年間稼働率も66.9%と目標の65%を上回ることが出来ました。登録者数は3月末時点で34名と目標の35名にあと一步の状態です。稼働面につきましては新型コロナウイルスの影響を受ける事はほぼございましたが、行事面では自粛を余儀なくされ、外出レクは全て車窓からの時間を短縮したドライブへ変更して行いました。職員の数も充足しているとは言えない中で、繰り返しのカンファレンスや職員会議の中で認知症の症状についての研修を行い職員のスキルアップに努めてまいりました。その中で職員の一人が社会福祉主事の資格を取得し今年度から生活相談員として登録しています。

④高齢者グループホーム光の園おくら

令和2年度は、本来グループホームだからこそ行える様々な事に、新型コロナ感染予防のために制限がかけられました。家族との面会、外出行事、買い物、地域との交流、ボランティア受け入れ等、外部との接触を遮断せざるを得ない状況でした。利用者の方々のみならずス

スタッフも初めての経験に、緊張した毎日を過ごしていました。そのような中でも3名の利用者様の入れ替わりがありました。新しい利用者様を含めて皆様が、体力筋力、意欲を低下させる事がないように、スタッフ皆で色々な企画をたてて、楽しく生活が送れるように支援を続けてきました。思い描いていた事は、ほとんどができない一年でしたが、新しい生活スタイルを模索した一年でした。

⑤小規模多機能ホーム光の園おくら

令和2年度は、新型コロナウイルス対策に重点を置くこととなり、通いサービスの利用定員を15名から12名に制限してサービス提供を行ってきました。そのため上期は思うように新規の契約が進まず、契約終了となる方もおり、登録人数を伸ばすことが厳しい状況でした。10月より登録定員を29名に引き上げ、その後は月平均24名以上を確保。下期の登録人数だけでみると過去最高となっています。次世代のリーダー候補となる人材の育成には、今後も注力していきます。

◆社会福祉法人 町田真弘会 中長期運営計画について

【令和2年度の取り組み】

①介護人材の確保・職員の正職員化について

令和3年4月 正職員への登用人数 ⇒ 1名

総職員数（令和3年4月現在） 63名

※正職員 33名・契約社員 9名・パートタイム 21名

<入退職状況>

	入職		退職		
	契約社員	パート	正職員	契約社員	パート
GH町田	5名	1名	0名	1名	3名
デイ	0名	2名	0名	1名	3名
小規模	1名	2名	0名	0名	2名
GHおおくら	2名	5名	1名	0名	3名

離職者（全体） 13名 離職者（正職員） 1名

②内部研修の充実化

<令和2年度 実施結果>

- 4月・・・新型コロナウイルスについて
- 5月・・・Web会議の活用法について
- 6月・・・ヒヤリハット・インシデントアクシデントシートからの分析
レクリエーションの目的について
- 7月・・・薬の効能、副作用等を学ぶ研修
パーキンソン病に関する研修
- 8月・・・インシデント・アクシデントシートの活用について
「挨拶」の重要性について
- 9月・・・内部監査実施
高齢者虐待の権利擁護について
- 10月・・・介護計画書（ケアプラン）について
「言葉」の意味について
- 11月・・・相談援助に関する研修
- 12月・・・感染症に関する研修
- 1月・・・2021年 介護保険制度改訂について
- 2月・・・自動車安全運転について
- 3月・・・笑顔の効果について
充実感について
虐待に関わる研修（各事業所にて実施）

2.人事労務・給与制度

①働き方改革関連法への対応

- ・年次有給休暇の計画的取得について
10日以上の年次有給休暇が付与される全ての労働者に対し、年5日、時期を指定し有給休暇を取得してもらいました。

②管理者層・一般職に対するステップアップ研修の充実

- ・入社後の新人研修を強化 ※原則 常勤職員に対して
マナー研修、倫理研修、法人概要の説明、認知症基礎研修を実施

- ・一般職員
実践者研修への参加を促し、2名の職員が研修に参加しました。
介護福祉士の資格取得支援（助成金、休暇）を行い2名の職員が介護福祉士の資格を取得されています。

- ・管理層・リーダー層に向けた研修
主任会議時に持ち回りで研修を行いました。自ら足りない所や強めていきたい所を考え学んでいく力を身に着ける一助になったと考えています。
新型コロナウイルスの影響で外部研修への参加は制限しています。

③職員の定着化へ向けた取り組み

- ・常勤契約社員については、勤務継続1年以上を経て正職員化を実施
→令和2年度は2名の契約職員を正職員化済み。

- ・勤続8年以上で介護福祉士の資格を持っているものに対して、特定処遇改善金を毎月の給与に上乗せし支給しています。

3.地域ニーズの把握

令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、運営推進会議は全て書面にて開催。地域のお祭りや、例年開催されていた行事も中止となっています。そのため、地域との繋がりが希薄していかないよう、関係性が維持できるよう書面や電話等にて連絡をとっています。

◆法人本部及び各事業所の年間目標（令和2年度）に対する結果

①法人本部

1) 各事業所と連携し目標売上予算達成を達成する。

⇒売上予算達成。+470万円。

2) 年間スケジュール（別紙）をたて、事業計画の進捗確認、修正を行う。

⇒年度が始まる前に年間スケジュールをたてた事により各会議、各事業所との連携がスムーズに行えました。また、月1回の管理者ホーム長会議により、各事業所における事業計画・予算進捗状況の確認も随時行うことができました。

3) 書類、業務等の効率化を図るためICTの整備を行う。

⇒各事業所にi-padを導入しました。入居相談、家族とのWeb面会、社内Web会議と多岐に渡り活用しています。次年度の課題としてはネットワーク環境の整備が必要になっています。

4) SNSを活用した広報、採用活動の強化

⇒HPをリニューアルし外部の方からわかりやすい内容にしています。

5) 研修体制の強化及び、サービスの質の向上

⇒毎月、個々が自ら研修内容を考え発表する場を設けました。

6) 職員の定着に向けた福利厚生面の充実化。

⇒10日以上有給休暇が付与される全ての労働者に対し、年5日、時期を指定し有給休暇を取得してもらいました。

7) 海外実習生の受入体制の整備

⇒2020年10月から受入体制を整備しました。整備内容「実習生の衣食住に関すること、職場でのコミュニケーションの取り方、実習計画、文化の違い等について」2021年1月より2名、グループホーム光の園町田に配属となっています。

8) 事業運営の適正化に向けた内部監査の実施。

⇒9月に全4事業所に対して内部監査を行いました。職員の質の向上と事業所運営の適正化に寄与できたと思います。

8) BCP（事業継続計画）の策定。

⇒新型コロナウイルス編、地震・災害編と2つのBCPを策定しました。

9) 法人設立20周年事業の実施

⇒新型コロナウイルスの感染拡大に伴い周年事業は行いませんでした。

記念品として事業所のボールペン、クリアファイル、シールを作成しました。

10) 感染症対策、必要備品の確保

⇒マスク 12,000 枚、消毒用アルコール 40 リットル、防護服 50 着の常時保持
光の園町田玄関に手洗い場を設置。各事業所に非接触型体温計を整備。

②高齢者グループホーム光の園町田

1) 年間稼働率 目標 96%以上

⇒96.6%達成。

2) 利用者の現状維持と利用者の個々の想いに寄り添い職員も一緒に楽しめるようにする
⇒利用者の方が重度化してきており、その方一人一人に残されている力と想いに寄り添いながら、職員間で話をし、ケアを行っています。各種行事が行えない中で、ホームで行える事を考え行動しました。

3) 利用者の身体状況、認知症の進行具合を把握し日々の変化に対応したケアを行う。
⇒毎日の申し送り、毎月のスタッフ会議、ケア会議を通じて日々の変化に対応したケアを行えました。利用者、職員を含めて熱発への対応を一番細かく行いました。

4) ご家族への定期的な連絡、又ご家族と利用者の方が一緒に過ごせるような環境を作る。
⇒新型コロナウイルスの影響により外出行事、面会等の制限を行ってます。ご家族への電話等による定期連絡、Zoom を用いた Web 面会の導入を行いました。また、家族会が開催できなかったので日頃の利用者様の様子を動画にし、ご家族へ配布しています。

5) グループホームチームケアの徹底 ※情報共有、職員間のコミュニケーションを図る。
⇒毎日の申し送り、毎月のスタッフ会議、ケア会議を通じて情報共有をはかり、各種行事や日々の業務の中でコミュニケーションを図りました。

6) リーダー層になれるような人材の育成強化。

⇒ホーム長、主任、副主任に対しては利用者の生活指導、利用者生活記録の再編と管理、スタッフの指導・管理の徹底するよう指導を行っています。業務分担を見直し、中堅職員に対して新しい業務を与え、広く業務を覚えさせ、リーダー層の職員には自身の業務をふる事により教える経験、自身の業務の見直し、新しい視点をみつけることを学んでもらっています。

7) 新人スタッフに対するOJT体制の構築。

⇒新人スタッフに対しての振り返りシート活用は各スタッフへ周知し必ず行うようにしました。メインをホーム長・主任に置きOJT体制を構築できたと考えます。

8) 施設内外の美化運動の徹底。

⇒外回りに関して、雨の日以外は職員が清掃活動を行ってきれいな外観を保つことができました。施設内については換気、除菌はしっかり行えています。ただし、内部監査により普段気づかないところの清掃ができていない事がわかりました。施設全体の清潔を保持できるよう、目に見えない部分や細かな場所の清掃も定期的に行っていきます。

9) 事業継続運営のための利用待機者の確保。

⇒待機者については月1回の管理者ホーム長会議で集約をし、小規模、デイと連携してきました。コロナの影響で積極的な居宅介護支援事業所や病院等への営業活動が行えませんでした。FAXやデイ・小規模からの繋がりが入居相談も行いましたが、生活保護の方の問い合わせや費用面で厳しい方が多く、すぐに入居に繋げる事ができませんでした。利用待機者の確保は今後も課題であると考えます。

10) 施設内における感染症対策の徹底。

⇒1日2回の検温、手洗いうがい、マスク、換気、アルコール消毒徹底、PCR検査等で徹底している。

③高齢者デイサービスセンター光の園町田

1) 年間稼働率 65%以上 月平均利用者数 300名以上

⇒稼働率 67%達成。月平均利用者数 325名。

2) 年間を通じた月平均登録者数 35名以上

⇒月平均登録者数 32名。年間平均 35名達成出来ませんでした。

3) 居宅支援事業所のケアマネージャーとより密接な連携を図り、ご本人のみならずレスパイトケアも含めてご自宅で地域の一員として生活して頂けるケアを目指す。

⇒相談員を中心にケアマネージャーとの連携を密にし、送迎時など職員が家族とのコミュニケーションを取り問題解決を目指しました。

4) 生活相談員を中心とした毎月1回の営業会議、日々のカンファレンスを通じ、情報を共有し営業目標をたて統一したケアを実践する。

⇒カンファレンスを通して情報を共有し、統一したケアの実践を目指す事が出来た。

5) 既存、新規の居宅介護支援事業所へ積極的に営業活動を行い、新規利用者獲得と稼働率の維持に努める。

⇒新型コロナウイルスの影響で新規事業所への営業活動が制限される中、目標を達成する事が出来ました。

6) 社内研修体制の強化と社外研修への積極的参加で職員全体のモラルやケアの質の向上を図る。

⇒毎月 1 回の定期社内研修とオンライン研修を利用した外部研修で職員のスキルアップを図りました。

7) 施設内における感染症対策の徹底。

⇒午前・午後 2 回ずつの換気、施設内のアルコール消毒、マスク着用の徹底や手洗いがい・手指消毒等徹底して行いました。

④高齢者グループホーム光の園おおくら

1) 年間稼働率 目標 96%以上

⇒99.4%。比較的スムーズに利用者の入れ替わりができました。

2月末まで入院する利用者もいませんでした。

2) 利用者の現状維持と利用者の個々の想いに寄り添い職員も一緒に楽しめるようにする

⇒各スタッフが日常的に取り組んでいます。

3) 利用者の身体状況、認知症の進行具合を把握し日々の変化に対応したケアを行う。

⇒利用者の変化に対して気づきはできても、そこから先がケアだという事がわからないため利用者は苦しい。皆、認知症ケアをもっと勉強する必要がある。

4) 認知症の進行の緩和とできる事の維持。

⇒各スタッフが日常的に取り組んでいます。

5) 利用者の状態に合わせた企画、イベントの提供。

⇒おおくらスタッフの得意な分野でもあり、様々なイベントを提供しました。

6) ご家族への定期的な連絡、ご家族と利用者の方が一緒に過ごせるような環境を作る。

⇒コロナが終息したら家族との時間を作ってあげたいと考えています。

7) グループホームチームケアの徹底、認知症ケアのスキルアップ

※情報共有、職員間のコミュニケーションを図る。

⇒職員同士はよくコミュニケーションがとれている様子だが、情報の共有は常に課題。

リーダー層の発信力が弱いので改善していく必要があります。

8) リーダー層になれるような人材の育成強化。

⇒次年度も継続して行っています。

9) 新人スタッフに対するOJT体制の構築。

⇒先輩スタッフが丁寧に指導しています。

10) 職員の定着率をあげる。

⇒現在は安定しています。風通しの良い職場作りを目指します。

11) 事業継続運営のための利用待機者の確保。

⇒現在、小規模で1～2名の方がグループホーム希望にて待機されています。

12) 施設内における感染症対策の徹底。

⇒1日2回の検温、手洗いうがい、マスク、換気、アルコール消毒徹底、PCR検査等で徹底しています。

⑤小規模多機能ホーム光の園おくら

1) 利用者の年間登録率90%（月平均22.5名）以上を必達目標とし、96%（月平均24名）を成果目標とする

⇒登録定員を29名に引き上げたことで年間登録率は86.9%となり、新型コロナウイルスの影響を受け、月平均の登録定員は23.47名で未達となっています。

2) 次期介護支援専門員の育成

⇒本年度の介護支援専門員は2名が受験しましたが、2名とも不合格。採用についても応募がなく育成には至っておりません。現在の管理者及び介護主任リビングパートナーが、介護支援専門員が行っている業務の一部を引き継いでいます。

3) 介護主任兼介護支援専門員の擁立に伴い、業務をまとめる介護副主任の設置検討

⇒年度初めに、副主任リビングパートナーを擁立していただき、介護主任は、介護支援専門員の業務の一部を引き継ぐことができました。

4) 訪問体制強化加算の取得に伴い、訪問業務を再構築し在宅生活を維持、継続するための支援を確立

⇒今年度の月平均の訪問件数は446件。訪問業務における事故が1件あり、利用者宅の鍵を交換することになり、交換費用は、契約者と折半になった。職員に対しては、改め

て認知症及び小規模多機能居宅介護のサービスについて職員会議で学習の時間を設けました。

5) 連携機関との関係性の維持・強化を継続

⇒特に、高齢者支援センターとの連携は密にしています。

今後もこの関係性を持続させていきます。

6) 利用者及びその家族の状態を見定めた上、高齢者グループホームの紹介を行う

⇒全体的に高齢者グループホームを希望される方がいない。主に経済的な理由が大きい。

経済的に余裕があり、かつ在宅介護に限界を感じている家族に対しては、併設の事業所等を紹介し、申し込みを行ってもらっています。

7) サービスの質向上のため、中堅職員の育成

⇒在籍 3 年経過した中堅職員が次年度より異動となる。色々な事業所にて経験を積ませることになります。また中堅が一人抜けることで、残っている職員の意識の変化を注意深く見ていきたいと考えます。

8) 施設内における感染症対策の徹底。

⇒本年度は、職員・家族ともに感染症を発症することなく事業継続ができました。

次年度以降も徹底して対策を行っていきます。

◆令和2年度 各事業所「稼働率」達成状況について

①高齢者グループホーム光の園町田

☆稼働率推移と目標達成状況について

	令和1年度	令和2年度	
稼働率	98.8%	(目標) 96%	(結果) 96.9%

<入退所> 退所 12月 2名 (ターミナル)
 1月 1名 (ターミナル)
 入所 12月 1名
 3月 1名

②高齢者デイサービスセンター光の園町田

☆稼働率推移と目標達成状況について

	令和1年度	令和2年度	
稼働率	66%	(目標) 65%	(結果) 66.9%
登録定員	31名	(目標) 35名	(結果) 34名

③高齢者グループホーム光の園おおくら

☆稼働率推移と目標達成状況について

	令和1年度	令和2年度	
稼働率	97.3%	(目標) 96%	(結果) 99.4%

<入退所> 退所 5月 1名 (特別養護老人ホームへ移られる)
 12月 1名 (ターミナル)
 2月 1名 (ターミナル)
 入所 6月 1名
 12月 1名
 3月 1名

④小規模多機能ホーム光の園おおくら

☆稼働率推移と目標達成状況について

	令和1年度	令和2年度	
月平均登録数	23.4人	(目標) 22.5人	(結果) 23.47人
登録率	97.5%	(目標) 90%	(結果) 86.9%

※令和2年10月から登録定員を25名⇒29名へ増やしています。

◆年間行事 活動結果（各事業所）

令和2年度 上半期（R.2.4月～R.2.9月）

	GH町田	デイ	GHおおくら	小規模
4月	<ul style="list-style-type: none"> 桜のお花見 お花見ドライブ 避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> お花見ドライブ ケーキ作り 避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 桜ドライブ 運営推進会議（書面） 	<ul style="list-style-type: none"> お花見ドライブ 運営推進会議（書面）
5月	<ul style="list-style-type: none"> 新緑ドライブ 運営推進会議（書面） 	<ul style="list-style-type: none"> 鯉のぼり見学（ドライブ） 母の日 真光寺散策 	<ul style="list-style-type: none"> 新緑ドライブ 握り寿司 Day 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> 野菜収穫 紫陽花ドライブ 	<ul style="list-style-type: none"> ジャガイモ収穫 ジャガイモ餅作り 父の日（小物入れ制作） 	<ul style="list-style-type: none"> 紫陽花ドライブ 運営推進会議（書面） 	<ul style="list-style-type: none"> バーベQ 運営推進会議（書面）
7月	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議（書面） 七夕 お寿司ランチ 	<ul style="list-style-type: none"> 七夕 風鈴作り 	<ul style="list-style-type: none"> 花火大会 流しソーメン 	<ul style="list-style-type: none"> 七夕飾り スイカ割り 流しそうめん
8月	<ul style="list-style-type: none"> 花火大会 うなぎテイクアウト 	<ul style="list-style-type: none"> 夏祭り 土用丑の日 ババロア作り 	<ul style="list-style-type: none"> 花火大会 流しソーメン うなぎテイクアウト 運営推進会議（書面） 	<ul style="list-style-type: none"> 壁紙制作 運営推進会議（書面）
9月	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議（書面） 内部監査 避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> そばの花見学（ドライブ） 敬老会 絵手紙制作 内部監査 	<ul style="list-style-type: none"> サンドイッチパーティー 内部監査 	<ul style="list-style-type: none"> 焼き芋 内部監査

令和2年度 下半期 (R.2.12月～R.3.3月)

	GH町田	デイ	GHおおくら	小規模
10月	<ul style="list-style-type: none"> 芋掘り 	<ul style="list-style-type: none"> 紅葉見学 (ドライブ) クレパスアート 	<ul style="list-style-type: none"> 花火大会 運営推進会議 (書面) 	<ul style="list-style-type: none"> ハロウィン飾り いも掘り 運営推進会議 (書面)
11月	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議 (書面) 紅葉狩り 	<ul style="list-style-type: none"> 落ち葉の壁画制作 	<ul style="list-style-type: none"> 紅葉ドライブ ちゃんちゃん焼 音楽祭 	<ul style="list-style-type: none"> 秋の壁紙制作 手打ちうどんづくり
12月	<ul style="list-style-type: none"> クリスマス会 大晦日 	<ul style="list-style-type: none"> クリスマス会 冬至 ゆず湯 ステンドグラス制作 	<ul style="list-style-type: none"> お好み焼きパーティー クリスマス会 大晦日 運営推進会議 (書面) 	<ul style="list-style-type: none"> クリスマス会 運営推進会議 (書面)
1月	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議 (書面) 七草粥・鏡開き 	<ul style="list-style-type: none"> 絵馬作り 書初め 七草粥・鏡開き 福笑い 	<ul style="list-style-type: none"> 正月ドライブ 七草粥・鏡開き 	<ul style="list-style-type: none"> 正月行事
2月	<ul style="list-style-type: none"> 節分 恵方巻きづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 節分 ケーキ作り 運営推進会議 	<ul style="list-style-type: none"> 節分・恵方巻 バレンタインデーレク 運営推進会議 (書面) 	<ul style="list-style-type: none"> バルーンアート 青空ランチ 運営推進会議 (書面)
3月	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議 (書面) ひな祭り さくら餅作り カレーパーティー 避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ひな祭り 梅の花見学 (ドライブ) 桜餅作り 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽祭 BBQ 	<ul style="list-style-type: none"> お花見散歩 お花見ドライブ

◆人材の雇用について

①契約職員の正職員化について

- ・常勤契約社員については、勤務継続1年以上を経て取り決める評価及び面接を通過したものは皆正職員化を実施。
- ・介護職員処遇改善加算の交付の仕方について
→毎月の支給（資格手当・運転手当含む）、夏季・冬季の一時金として支給実施。
- ・人件費比率（65～68%）を目指す
→人件費比率は64%となり達成しました。

②研修体系の整備について

- ・新人研修・・・配属前研修、OJT体制を組んで実施。
- ・一般職員研修・・・新人スタッフへの教育方法研修。認知症ケアのスキルアップ研修。勤務2年以上勤務者に対して実践者研修受講。

③人材の募集について

- ・ハローワークでの定期的な求人募集。合同面接会、各種面接会は新型コロナウイルスの影響で断念。
- ・求人広告における採用活動（ネット媒体、紙媒体）
- ・ホームページ上における採用ページの強化。モバイル対応。

④外国人労働者の雇用について

- ・ワールドケア組合での取組
- ・2021年1月から2名の実習生が光の園町田にて働いています。
- ・2021年3月にWebにて面接を行い2名の外国人労働者の受入を決定しました。

⑤新卒採用について

- ・2020年度卒の大学生を対象にした採用活動
2020年6月に近隣諸大学のホームページ上に求人登録を行いました。反響はありませんでした。
- ・2020年度卒の高校生を対象にした採用活動
新型コロナウイルスの影響で各高校へのPRはあまり行えませんでした。
Webにて1名の高校生から応募があり面接し、採用に至りました。
2021年4月から光の園おおくらにて配属となっています。

⑥近隣諸大学の大学生短期雇用について

- ・ホームページ、掲示版等にて短期アルバイトの募集

大学生の短期アルバイト募集をかけましたが反響はありませんでした。

⑦東京都就労訓練事業について

・新型コロナウイルスの影響で2020年度は外部からの受入を制限しています。

◆職員定例会議、各種外部会議、委員会の実施状況について

各事業所・・・管理者・ホーム長会議 毎月1回

スタッフ会議 毎月1回 2020年4月は緊急事態宣言下につき中止

主任会議・・・毎月1回 ※各事業所の報告、事例検討、リーダー層への研修

⇒2020年4月、5月は緊急事態宣言下につき中止

サービス毎の連絡会

GH連絡会・小規模連絡会・通所連絡会・鶴川圏域社会福祉法人連絡会

⇒新型コロナウイルスの影響で対面での会議は中止。不定期にてWeb開催

<委員会活動> 実施状況

① 事故・防災委員会

② 研修委員会

③ E c oクリーン委員会

④ レクリエーション委員会

⑤ まちだ・おおくら交流委員会

・各委員会ともに7月以降～始動。Web開催もしくは少人数での対面式開催。

・事業所間をまたがないように、Webやそのほかのツールを用いて開催しました。

合同での研修やレクは行えないため、委員会内で考えたものを各事業所にて実施。

◆地域との交流事業について

①運営推進会議

■高齢者グループホーム光の園町田 (年6回)

5月 定例会・虐待防止委員会 →書面開催

7月 定例会・虐待防止委員会 →書面開催

9月 定例会・虐待防止委員会 →書面開催

11月 定例会・虐待防止委員会 →書面開催

1月 定例会・虐待防止委員会 →書面開催

3月 定例会・虐待防止委員会 →書面開催

※新型コロナウイルス対策として外部の方は書面出席にて実施

■高齢者デイサービスセンター光の園町田 (年2回)

7月 定例会・虐待防止委員会 →書面開催

3月 定例会・虐待防止委員会 →書面開催

■高齢者グループホーム光の園おおくら

4月 定例会・虐待防止委員会 →書面開催
6月 定例会・虐待防止委員会 →書面開催
8月 定例会・虐待防止委員会 →書面開催
10月 定例会・虐待防止委員会 →書面開催
12月 定例会・虐待防止委員会 →書面開催
2月 定例会・虐待防止委員会 →書面開催

※新型コロナウイルス対策として外部の方は書面出席にて実施

■小規模多機能ホーム光の園おおくら

4月 定例会・虐待防止委員会 →書面開催
6月 定例会・虐待防止委員会 →書面開催
8月 定例会・虐待防止委員会 →書面開催
10月 定例会・虐待防止委員会 →書面開催
12月 定例会・虐待防止委員会 →書面開催
2月 定例会・虐待防止委員会 →書面開催

※新型コロナウイルス対策として外部の方は書面出席にて実施

②中学生職場体験・各種実習生の受入

新型コロナウイルスの影響で外部からの受入はなし。

③大蔵町内会盆踊り

新型コロナウイルスの影響で中止

④鶴川学園ふれあい祭り

新型コロナウイルスの影響で中止

<地域における公益的な取り組み>

- ・各種連絡会を通じた地域における取組

GH連絡会

10月のグループホーム作品展示会は新型コロナウイルスの影響で中止。

- ・地域への参加と交流

子供神輿、地域の町内会、児童との交流、大蔵町内会の盆踊りへの出店、鶴川学園ふれあい祭りへの出店も全て新型コロナウイルスの影響で中止。

- ・施設内スペースの地域への開放検討について
予算を設けて着実に畑の整備を行っています。2020年度は畑用地の歩道整備と耕運機の整備を行いました

◆社会福祉充実計画に関して

令和1年度期末時点 社会福祉充実残高 ▲ 73 百万円程

令和2年度期末時点 社会福祉充実残高 ▲ 59 百万円程

→社会福祉充実残高がマイナスのため社会福祉充実計画は策定致しません。

以上